発行:第五地区コミュニティ推進委員会広報部
沼津市五月町15－1　電話　055-925-8686
発行部数:10,000部

地域をつなぐ

第五地区コミュニティだより

第36号

令和7年　二十歳の集い

令和7年の「二十歳の集い」は、初めて第五地区センターで開催いたしました。
二十歳を迎えた参加者　男性64名　女性46名　計110名　来賓・恩師17名　その他・運営スタッフ等含めて合計275名という大きなイベントでした。

第五地区コミュニティ推進委員会
北村会長より

令和七年二十歳の集いに参加された皆さんへ

晴れて「二十歳」という節目の年を迎えられた皆さん、おめでとうございます。希望に満ちた皆さんの姿を拝見しますと、成長を見守ってくださったご家族の喜びもひとしおであろうと感じます。

中学校卒業から今日までの五年間、私たちの社会や世界は想像以上の変化を遂げました。「人生百年時代」が叫ばれる中、皆さんは、これからの人生を考えると約八十年の時間があり、チャレンジは無限です。「少年よ大志を抱け」というクラーク氏の言葉どおり、大きな夢を持ち、勇気をもって行動してほしいと思います。逆境に立たされることもあるでしょうが、必ず支えてくれる人がいるはずです。正しい道を進み、成長し続ける大人になってください。

大谷選手が、大リーグで活躍しているように、夢を実現させることは努力することで可能です。皆さんも、多くの大人に見守られながら育ってきたことを胸に、今後は社会や地域に貢献していくことが求められます。私たちの第五校区の未来を築くために、若い皆さんの力が必要です。皆さんの未来が輝かしいものでありますように。

3組

未見の我を求めて可能性は無限大。自分を大切に一歩一歩、歩む中で、必ず未だ見ぬ自分に出会うでしょう。未見の我は無数にあるはず。

元第五小学校校長・元第五中学校校長
上野　美幸

晴れの日を見守る親御さんも多く出席されました

二十歳の議会代表

1組

懇親会会場

懐かしの恩師と

第五中在校生のお祝いのことば

小学・中学の恩師の方々（なぜか紹介の時爆笑が…）

節目となる二十歳をお迎えになった皆様、おめでとうございます。

開北小学校のリーダーとして、JRCの活動に取り組んでいた皆様の姿は、今でも鮮明に思い浮かべることができます。皆様が歩んでいく先には、良いこともあれば困難な課題もあることと思います。困難なときこそ笑顔を忘れず、一歩ずつ前に進んでください。皆様の未来が光に満ちていることを心からお祈りしています。

元開北小学校校長　真野　津久美

4組

平成28年度　開北小学校卒業生のみなさん

みなさんの卒業アルバムに寄せた言葉を読み返してみました。「自分には価値がある。目の前の人には可能性がある。」と自分と他人を信頼できていますか。

今日という日を迎えられ、多くの方々から祝福された喜びを胸に、未来へ向けて新たな一歩をふみ出してください。

元開北小学校教頭　安喰　千一朗

2組

誓いの言葉

記念品贈呈

久々に歌う五中校歌　来賓の方々も一緒に合唱

ご成人おめでとうございます。皆さんの20年に僅かながら関われたことを嬉しく思います。

私にとって、初めての卒業生である皆さんと第五中で過ごしたかけがえのない時間は、今も教員としての原動力になっています。

コロナ禍での卒業を経て、それぞれが進んだ道でたくさんの人と出会い、この5年間という月日の中でさらに逞しく成長したのではないでしょうか。（私も二児の母となりました。）ここまでの成長を支えてくれたご両親や周囲の人たちに改めて感謝して、素敵な大人になってください。

皆さんの成長と幸せを願っています。

元第五中学校4組担任　大川　朋子

第五地区コミュニティ　学校紹介

地域とともにある学校

沼津市立第五中学校
校長　横山 尚博

本校は、普通学級十二クラスと特別支援学級一クラスからなっています。小中一貫教育目標は「やさしく かしこく たくましく」、第五中の合い言葉は「高い志を抱き たくましく しなやかに生きる」です。子ども達は、この二つのフレーズを大切にし、卒業生の皆様から引き継いだ徳の高い伝統を進化させ、心豊かな学校生活を送っています。

第五中学校区は、令和二年度に『沼津市コミュニティスクールモデル校』として指定を受け、『地域とともにある学校』として先進的に活動を進めてまいりました。

自然災害の激甚化・深刻さを増す少子高齢化・グローバル社会の進展、デジタル技術の発展等、世の中の激しい変化の中、未来を担う子ども達のために何ができるかを共に考え、教育を支えていただいております。

地域の子どもは地域で育てるというコミュニティの揺るぎない信念と日々のあたたかな御支援に感謝申し上げるとともに、引き続き地域の皆様に愛される学校づくりに努めてまいります。

■ 生涯学習部行事

● ケーキづくり・クリスマス会　12/15

12月15日(日)、「ケーキ作り・クリスマス会」を開催しました。募集定員の70名を大幅に上回る多くの子供たちやご両親にご参加いただき、心温まるひとときを共に過ごすことができました。

イベントでは、参加した子供たちがイチゴなどの果物を使ってクリスマスケーキを作り、皆で美味しくいただきました。また、地域で活動している高田さんによるマジックショーや「パンダース」のバンド演奏、そしてビンゴゲームもあり笑顔の絶えない楽しい時間が流れました。

■ コミ,地区連合自治会・社協共催行事

● 南連合　新春高齢者寿サロン　　1/26　市立図書館

市立図書館にたくさんの人が参加してくださり、盛大に実施されました。交通安全講話で事故防止の話を聞き、シンガーソングライター「タマキさん」の歌を聞き、最後は抽選会を楽しみました。

● 開北地区　高齢者ことぶきサロン　1/21　北高島町自治会館

三島市坂生涯学級　箏曲部　千鶴の会の皆様による琴の演奏で新年を祝いました。美しい音色に心が癒されました。

聴覚特別支援学校高等部の生徒さんとの交流や、支援学校内の畑で収穫した野菜の販売もありました。

共に歌う楽しいひと時

野菜はあっという間に完売

● 令和7年新春の集い　1/19　第五地区センター

コロナ禍を乗り越えて再開3年目の「新春の集い」が開催され、80名を超える人々が演奏を楽しみ、ビンゴ大会に興じました。

大正琴アンサンブルMy-meの皆さんによる華やかで温かい演奏会は新春にふさわしく、今年も大盛況のうちに会を催すことができました。

編集委員
広報部　久保 貴英　藤井 敏和　辻丸　治　小嶋　康幸
鈴木 勝博　土屋 菊雄　荒川 靖彦　水野　明美

来年度も3回の発行を予定しています。皆様からの寄稿歓迎いたします。